

チラシあり

(A4、片面、1枚)

令和7年7月8日

市政記者クラブ様

名古屋市科学館（愛知県と同時発表）

担当：学芸課 鈴木、小林

電話：201-4486

## ～あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室～

あまの ひろし

### 天野 浩 先生特別講演会の参加者を募集します！

愛知県と名古屋市は、当地ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝え、次世代の科学技術を担う人材の育成や当地の科学技術の先進性・魅力の発信を図ることを目的に、名古屋市科学館（名古屋市中区）において「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を運営しています。

この度 2014 年ノーベル物理学賞を受賞されました天野 浩<sup>あまの ひろし</sup>先生の特別講演会を開催します。本講演会では、先生が小学生の時代から現在に至るまで、青色 LED に出会う前と出会った後、勉強や研究に対する向き合い方や考え方がどのように変化したか、受賞時や受賞後のエピソードなどを交えてお話いただくとともに、参加者の皆さんとの座談会を行います。

つきましては、本講演会及び座談会の参加者を募集しますので、お知らせします。科学に対する好奇心や探究心を育む機会として、多くの皆様の御参加をお待ちしています。

#### 1 日時

令和7年8月30日（土）午後2時～午後3時40分（開場：午後1時30分）

#### 2 会場

名古屋市科学館生命館地下2階（あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室内）

名古屋市中区栄二丁目17番1号

電話番号 052-201-4486

#### 3 内容

天野浩先生は、「高輝度、省エネルギーの白色光源を可能とした高効率青色発光ダイオードの発明」により故・赤崎<sup>あかさき いさむ</sup> 勇<sup>なかつむらし ゆうじ</sup> 博士、中村修二博士と共に2014年ノーベル物理学賞を受賞されました。本講演会では、先生が小学生の時代から現在に至るまで、青色 LED に出会う前と出会った後、勉強や研究に対する向き合い方や考え方がどのように変化したか、受賞時や受賞後のエピソードなどを交えてお話いただきます。

また、会場では名城大学が所有している天野先生のノーベル賞メダル及びノーベル賞ディプロマ（賞状）のレプリカを記念室内に展示します。

模型の展示期間：令和7年8月26日（火）から8月31日（日）まで

## 4 スケジュール

14:00～14:45 天野浩先生特別講演会  
14:45～14:55 休憩  
14:55～15:40 天野浩先生との座談会

## 5 対象

- (1) 講演会  
どなたでも（内容は小学校高学年以上を想定）
- (2) 座談会  
登壇者：小学生～大学生を優遇

## 6 申込期間

令和7年7月8日（火）から8月12日（火）まで

## 7 定員

- (1) 講演会  
200名程度
- (2) 座談会  
登壇者：6名程度  
聴講者：194名程度

※当落結果は全ての応募者に対し、令和7年8月22日（金）までにメールにて御連絡します。また、座談会の登壇に御応募いただいた方には、当選・落選にかかわらず、結果を上記メールにてご連絡いたします。

※座談会について、登壇者以外は聴講者としてご参加となります。

## 8 参加費

無料

※ただし、科学館への入館には所定の観覧料が必要です。

観覧料については【参考】「4 観覧料」をご覧ください。

## 9 申込方法

右記二次元コードから「申込フォーム」にアクセスし、お申込みください。



## 10 その他事項

- ・体調が優れない場合は、参加をお控えいただきますようお願いいたします。

【申込フォーム】

## 11 問合せ先

(申込みに関すること)

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課 電話：052-954-6351

(講演会の内容に関すること)

名古屋市科学館 電話：052-201-4486

## 12 取材の申込みについて

当日の取材を希望される方は、会場準備の都合上、  
右記二次元コードから【取材申込フォーム】にアクセスし、  
事前に申込みをしてください。



【取材申込フォーム】

なお、当日の注意事項については、申込み後に御案内いたします。

申込期限：令和7年8月12日（火）

## 【参考】あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室について

### 1 場所

名古屋市科学館 生命館 地下2階（名古屋市中区栄二丁目17番1号）

### 2 開館時間

午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

### 3 休館日

毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、毎月第3金曜日（祝日の場合は第4金曜日）、年末年始（12月29日から1月3日まで）

※臨時開館、休館日があります。

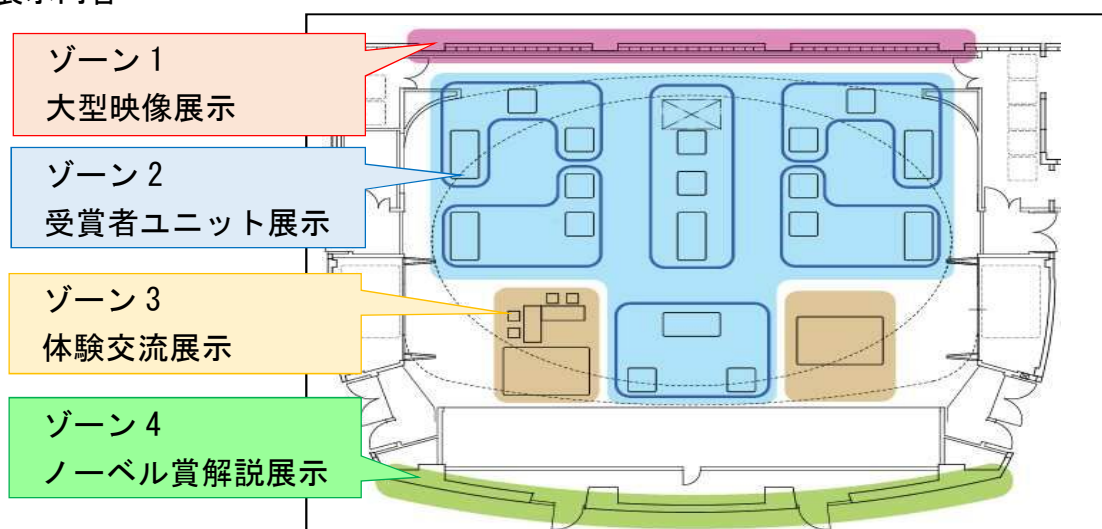
### 4 観覧料

名古屋市科学館の「展示室のみ」観覧料（一般400円、高大生200円、中学生以下無料）で観覧可能

### 5 開設日

令和3年3月23日

## 6 展示内容



| ゾーン                 | 内容                                                           |
|---------------------|--------------------------------------------------------------|
| 「ゾーン1」<br>大型映像展示    | 受賞者の偉大さや受賞研究の内容・成果などを、直感的かつ分かりやすく伝える壁一面に展開するダイナミックな映像展示      |
| 「ゾーン2」<br>受賞者ユニット展示 | 受賞者の研究者人生や研究内容、成果の社会的な貢献を学ぶことができるストーリー性のある体験展示               |
| 「ゾーン3」<br>体験交流展示    | 受賞研究をテーマとした実験やノーベルウィークに行われる晩餐会の疑似体験など、受賞者やノーベル賞を多様な切り口で捉えた展示 |
| 「ゾーン4」<br>ノーベル賞解説展示 | ノーベル賞の概要や著名な受賞者を紹介するガイダンス展示                                  |

## 7 展示対象の受賞者

愛知県内の大学・研究機関に在籍実績のあるノーベル賞受賞者

(受賞年順・敬省略)

| 氏名            | 受賞年           | 受賞理由            | 在籍実績機関     |
|---------------|---------------|-----------------|------------|
| のより<br>野依 良治  | 2001 年化学賞     | キラル触媒による不斉反応の研究 | 名古屋大学      |
| こぼやし<br>小林 誠  | 2008 年物理学賞    | CP 対称性の破れの起源の発見 | 名古屋大学      |
| ますかわ<br>益川 敏英 | 2008 年物理学賞    |                 | 名古屋大学      |
| しもむら<br>下村 脩  | 2008 年化学賞     | 緑色蛍光タンパク質の発見    | 名古屋大学      |
| あかさき<br>赤崎 勇  | 2014 年物理学賞    | 青色発光ダイオードの発明    | 名城大学、名古屋大学 |
| あまの<br>天野 浩   | 2014 年物理学賞    |                 | 名古屋大学、名城大学 |
| おおすみ<br>大隅 良典 | 2016 年生理学・医学賞 | オートファジーの仕組みの解明  | 基礎生物学研究所   |
| よしの<br>吉野 彰   | 2019 年化学賞     | リチウムイオン電池の開発    | 名城大学       |